

健康への道 疾病予防の取り組み

湖

国

考

え

る

健

康

を

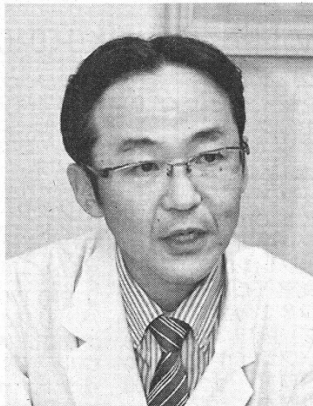
ら



滋賀県では、国から「滋賀健康創生特区」の指定を受け、医療・健康機器の開発や健康支援サービスの提供を通じて生活習慣病の予防と健康づくりを目指す取り組みを産官学連携で進めています。滋賀医科大学の研究でも、生活習慣と病気の関係が明らかになってきました。「湖国から健康を考える」では、心疾患やがんなどの治療や予防について、医師に聞きました。

滋賀の医師に聞く

心房細動の脳梗塞予防



循環器内科部長 柳 彰 氏

滋賀湖大橋病院

Q 心房細動と脳梗塞の関わりは。

A 心房細動は心房という心臓の一部が不規則に震え、心臓のリズムが乱れる不整脈で加齢とともに増加します。

生活習慣病と深い関わり持つ

脳卒中は出血性と脳の血管が閉塞する虚血性に分けられ、近年は虚血性脳卒中が全体の

(A)、糖尿病(D)、脳卒中(S)を有していると心原性血栓を発生しやすくなりま

μを正常に保つようになり、慢性化した心房細動では適度な脈拍数になるように調

整します。カテーテルアプローチといつて脚の付け根の血管から何本かの細い管を心臓内に挿入して左心房の筋肉の一部を高周波で焼灼する治療もあります。血栓症リスクが高い人には抗凝固療法を行います。従来はワーファリンという薬しかありませんでしたが、ここ数年で新しい薬が登場し治療選択の幅が増えています。心房性脳塞栓は他の脳梗塞に比べ広範囲の障害を起こすことが多く、死亡率も寝たきりになってしまつ割合も高いため、発症予防を十分に行うことが重要です。

4分の3を占めています。虚血性脳卒中はラクナ梗塞、アテローム血栓性梗塞、心原性血栓がほぼ3分の1ずつあり、心原性脳梗塞は主に心臓にできた血栓が脳へと移動して発症し、約9割が心房細動が原因だといわれています。

Q 生活習慣病との関係。

予防を行います。動悸や不整脈の自覚症状の強い方には、抗不整脈薬を用いて脈のリズ

A 心房細動患者が心不全(C)、高血圧(H)、高齢

Q 心房細動の治療は。

Q 心房細動の治療は。脈拍調節と血栓塞栓症予防を行います。動悸や不整脈の自覚症状の強い方には、抗不整脈薬を用いて脈のリズ